

両立支援研修会の受講者様の感想

1. 担当者と当事者そして会社との信頼関係が重要。
2. 地域性があり、なかなか自分自ら病気の状況を話し合うテーブルがないのが現状です。
3. 治療のため仕事を休まざるを得ないので、その際の収入の確保について、詳しく説明できるよう研修（勉強）が必要であると痛感しました。
4. 自分自身も絶対にかからないと言えないですし、今後の対応の仕方が理解できて非常によかったです。
5. 休暇を消化してから休職という方向になっていた。現状を考えると休暇を残して制度休職を使わせ、復帰の際に休暇をうまく使わせるようにしたい。
6. 労働者不足もあり、従業員の方には長く勤務してもらいたい。大変勉強になった。
7. 会社の体制を変更したりする準備が必要であると感じた。人材を守ることは大切なので前向きに考えていきたい。
8. 休業期間終了時に自然退職となる（本人・家族納得合意）という事例があったため、今後の両立支援について詳細を知りたかった。とても良い情報をいただけた。DVDを見たらよくわかった。
9. ガンで治療中の者がおります。当社での取り組みの参考にさせていただきます。
10. 疾病に罹患しても、治療と職業生活の両立ができる制度があることは、従業員を含め全ての労働者にとって安心であると思いました。
11. 転移等にて治療にはまだまだ時間がかかりそうです。本日のお話を参考にさせていただきたいと思います。
12. 大病になり仕事を辞めた事例は過去に例は少ないが、制度化することの重要性を感じました。
13. だれもが何らかの事情を抱えて仕事をしている。働きやすい環境を整えていきたい。
14. 治療しながら職業生活を送る方が増えているため、法律的な視点を含め参考になった。
15. 会社でも癌の治療を受けながら勤務継続をされた方がいたが、本人から相談を受け、指針等もないため、暗黙の中で行っていた。明文化が大切で次につなげるようにしていきたい。
16. 見える化をされていないが、会社としての取り組みや制度は整っている。これでいいのか？他にやれる事はないか悩んでいた。事業所側にも、病院にも知ってもらうため、今後も開催し周知すべきと思います。
17. 今までも患者さんの求めに応じて診断書を作成したり、会社の上司とドクターが面談を行っていたので、ガイドラインでは情報提供書、医師意見書が示され明文化されたということで良かったと思います。
18. 本人の元々の仕事内容を詳細に把握し、医学的な判断をしていくことが重要で、書式を院内でも活用したい。
19. ガイドラインにそって両立支援を準備する必要があると感じた。
20. このしくみに沿って努力していただける事業所が少しずつでも増えていただければと思います。
21. 病院のメディカルソーシャルワーカーには十分な内容でした。
22. 「注意・確認事項」は大変参考になりました。「今」欲しい情報でした。
23. ビデオは分かり易かった。
24. 復帰後の時短にて継続的に仕事は出来ても、給与は時間が少ない分、減ってしまう。給与が減る分、ある一定期間の補助が必要だと思います。（生活面）
25. 両立支援ガイドラインは活用すべきと感じます。（本人・会社）
26. 具体的事例があり、わかりやすい。（職場復帰時の例）
27. 企業にどんどん説明等で知っていただき、両立支援をあたり前にして欲しいです。
28. 病を持っていても働ける（生きがいを持てる）環境づくりに力を入れて行っていただきたいです。（企業トップの理解が必要）
29. 事例、留意点について活用したい。



「病気になっても働き続けたい。」
そんな働く人の気持ちを応援したい。



今、知って欲しい。

治療と職業生活の
両立支援

今後の研修会の課題

1. 実際どのように支援を行っているのかなどをきいたり、話をしたりする場があると良いと思います。
2. 事例検討も困難なケースをしていただければと考えています。
3. 具体的に就業規則をどう定めてゆけば良いか、休業前後の対応のすすめ方など教えて頂ければと思います。
4. 就業規則の休職期間や有給・無給について、最近の動向としてはどの位がのぞましいのか？アドバイスを頂ければと思います。
5. 少し説明の時間が短い。
6. 社の規程、マニュアルに取り込むべきところは大いに活用したい。
7. もっと具体的な事例を基に説明して欲しい。
8. 事務員には難しい内容でした。